



産学連携パンフレットも作りました！

こんにちは。地域連携コーディネーターの安藤です。このたび、包装資材の総合商社・株式会社コパックス様と大学が協力し、バラにまつわる新商品を開発しました。その名も、「お手福（おてふく）」です！（パチパチパチ）バラの香りがする紙おしぼりで、「おてふき」と「福山」を掛け合わせたネーミング

が好評です。

振り返ると、このプロジェクトは2024年2月末、福山商工会議所主催のビジネス交流フェアでの出会いからスタートしました。本学からは9名の学生有志が参加し、企業・学生・大学事務局とで何度も打ち合わせを重ねながら、商品のコンセプトやデザインを形作っていきました。

縁起の良いネーミングや、華やかなパッケージ、ほのかなやさしいバラの香り。世界バラ会議をはじめとする市のイベントや大学の入試広報でお配りするほか、福山SAなどで販売予定とのこと。まちで「お手福」と出会った際には、ぜひSNSなどでつぶやいてもらえるとうれしいです！

●しまなみPACK出展レポート

長かった酷暑がようやく落ち着き、紅葉の季節ですね。紅葉狩りの由来は、簡単に出かけられない平安貴族たちがどうしても紅葉を楽しみたいからと「狩り」という言葉を使ったためだそうです（諸説あります）。こんにちは。地域連携担当のカクです。

私からは、10月10日（木）、11日（金）に開催された「しまなみ PACK 2024」について報告します。大学としてはコパックス様とともにブー

スを出展し、「お手福」プロジェクトメンバーの学生たちと参加してきました。開会式では、佐藤利行学長もテーブルに参加し、みなさまの前でご挨拶もさせていただきました。

まず私の感想ですが、しまなみPACKの2日間はとにかく刺激的で面白かったです！たくさんの企業の方が興味をもってくくださったため、大学ブースには常時多くの方にお越しいただきました。対応していた学生たちも、最初は緊張気味でしたがすぐに慣れ、積極的にお手福をPRしてくれました。「とても楽しかった！」と言ってもらえて、私たちとしても一安心。現

場で商品のリアクションをもらえたことが、何よりも学生たちの財産になったと思います。

また大学としても、このプロジェクトは大きな財産となりました。このような場を提供いただいたコパックス様にはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。今後も産学連携を推進できるよう努めますので、相談がある方はぜひお問合せください！

「お手福」開発参加学生：大島ゆずか、河相杏佳、香西花夏、坂本優花、佐々木幹基、辻田詩央、富田夏海、増田凌、松井鳴己（9名とも都市経営学部3年）



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集